



野登小 HP ↑

野登小学校
学校だより
2024.2.14
No.19

学校アンケートにご協力ありがとうございました

主な項目のアンケート結果と内容について報告します。「A そう思う」「B ややそう思う」「C あまり思わない」「D 思わない」の4段階評価で回答していただきました。(E「わからない」もあり) 表の中の数字は、A+Bの肯定的評価の割合を示しています。また、今年度はQRコードを活用した集計で実施しました。

◎学校は楽しい

9割程度の肯定的評価となっていますが、昨年度よりやや低くなっています。「学校は楽しい？」の問いかけに、迷わず「A そう思う」と回答していただけるよう、どの子にとっても安全・安心で居心地の良い楽しい学校になるよう、今後も、保護者・地域の方々とも連携し取り組んでいきたいと思ひます。

学校は楽しい	児 童		保護者	
	R4	R5	R4	R5
肯定的評価	96%	93%	93%	89%
A「そう思う」	60%	58%	60%	73%

◎学校教育に期待すること

地 域	保 護 者	教 職 員
コミュニケーション力(25%)	コミュニケーション力(23.2%)	コミュニケーション力(24.4%)
規範意識や思いやりの心(19.4%)	学習意欲 (23.2%)	規範意識や思いやりの心(23.3%)
学習意欲 (19.4%)		

3者共通して「コミュニケーション力」の項目が高い割合を示しています。本校では、道徳科を中心に、自分の考えを相手にわかりやすく伝え、話し合う活動を大切にした授業づくりを進めています。また、ふるさと学習等地域の方との関わりの中で、体験を通した学習を続けています。学校は集団で生活する場であり、様々な経験を通してコミュニケーション力を育むことのできる場として、子どもたちの成長を支援し、見守っていききたいと考えます。

◎挨拶ができている

挨拶ができている	児 童		保護者		地 域		教職員	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
肯定的評価	93%	95%	87%	70%	100%	83%	53%	61%
A「そう思う」の割合	63%	67%	40%	30%	29%	17%	21%	17%

7割弱の子どもが「そう思う」と回答している一方、保護者・地域・教職員の評価は、低くなっています。挨拶をされてから返すのではなく、自分から進んで挨拶ができるようになってほしいとの願いから評価が厳しくなっているようです。今年度、「あいとも運動」も含め、児童会中心に挨拶運動に取り組んだり、下校集会で挨拶の仕方を練習したりして取り組んでいます。新型コロナの影響で、“大きな声で挨拶をする”ことを社会全体が控えていた弊害もまだ感じられます。今後も、明るく、笑顔でつながれるように気持ちの良い挨拶を実践できるよう取組を進めていきたいと思ひます。

◎聞く・話す

授業中、休み時間、校外学習へ行った際、どのように話すと、お互いに気持ちよく過ごせるのか

正しい言葉遣いが できている	児童		保護者		地域		教職員	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
	91%	90%	80%	76%	86%	58%	84%	89%

を子どもたち自身が考え、行動していくことが大切です。時・場・相手に応じた正しい言葉遣いを子どもたち自身の判断で使えるよう、日常的な指導・支援を続けていきたいと思います。

話を聞くことについては、児童の肯定的評価が100%になっています。教室に「聞き方あいうえお」を掲げ、日常から聞く姿勢をていねいに指導する取組を進めています。また、話す力・

聞くことが できている	児童		保護者		教職員	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
	93%	100%	80%	70%	68%	67%

聞く力を高めるために、毎週水曜日の「下校集会」で、転任してきた教職員から始めて、児童（6年と5年）が、スピーチを行っています。児童は、自分の伝えたいことをしっかりと声に出し、全校の子どもたちの前で話すことができます。そして、子どもたちが興味関心をもってじっくりと話を聞く時間を共有できたことや、スピーチをする高学年の姿が下級生のよい手本となっていることが成果と考えられます。

これからも子どもの発達段階に応じて、子ども自身が「話したい!」「聞きたい!」と思える場面を学校生活の中で積み上げられるよう取組を継続していきたいと思います。

◎学習に関する児童アンケート

今年度、ポイントがやや下がっていますが、D「思わない」と回答した児童が0となっています。しかし、中には学習内容を理解するのに時間がかかっている児童もいるのが現状です。一斉学習のみならず、ペア・グループ学習やタブレット端末を活用した学習等、児童の理解度に合った学習方法を取り入れることや、のびのびタイム（補充学習）の更なる充実など、すべての子どもが「授業がわかった」といえるよう授業づくりをさらに進めていきます。

学校では、朝の学習の時間や休み時間等に読書を行う時間があります。子どもたちは、毎朝、図書館へ行き、本を借りており、1月末で1人当たり約135冊の図書利用があります。また、学校司書の活用、図書館アドバイザーによる図書授業、ボランティアによる朝の読み聞かせ等、児童が本に触れ合う機会を積極的に設けています。そんな中、アンケート項目「読書は好き」の肯定的評価が74%に留まった背景を丁寧にみる必要があります。本当に自分の興味のある本を選んでいるか、借りることや読むことが児童の楽しみになっているかなど、子どもたちの読書に対する思いをつかみながら、本の世界を楽しめる体験を積ませていきたいと思います。

児童アンケート							
国語がわかる		算数がわかる		タブレットを使うと 授業が分かりやすい		読書は好き	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
97%	95%	95%	91%	96%	97%	92%	74%



◎人権学習の取組

仲間について考える学習は大切。 学校は、人権学習等に取り組んで いる。	児童		保護者		地域		教職員	
	R4	R5	R4	R5	R4	R4	R4	R5
	99%	100%	89%	81%	57%	83%	100%	89%

12月の人権週間に合わせた取り組みとして、『人権標語』づくり、人権集会を行いました。各学年の人権学習から思ったことや感じたことを人権標語に表し、それを児童玄関に掲示しました。人権について考えたり、お互いの作品に触れたりすることで、学校全体のよい雰囲気づくりのきっかけとなりました。人権集会では、「個性を認め合う学級・学校づくり」をテーマになかよし班で話し合いました。また、年間を通して、道徳や学級活動の授業や朝の会・帰りの会等の時間にお互いを認め合ったり、相手の気持ちを考えたりする活動を行っています。さらに総合的な学習の時間の中に、人権授業を位置づけ、参観で保護者や地域の方々に見ていただく機会ももちました。今後も、学校での子どもたちの学びの様子を保護者や地域の方へ発信し、人権について大人も子どもも共に考え、大切にできる風土を広げたいと思います。

◎学校の取組に関する（保護者アンケート）

わかりやすく周知 （通信・HP）		丁寧な対応		安心・安全		わかりやすい授業		読書活動		地域学習	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
93%	97%	96%	95%	100%	97%	93%	92%	96%	92%	100%	97%

全体的に、肯定的な評価が高くなっています。今後も、わかりやすい情報発信を心がけ、保護者や地域の方の協力を得ながら、積極的に読書活動や地域学習に取り組むとともに、子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる学校づくりを進めていきます。

◎家庭生活に関するアンケート

朝ごはんを毎日食べる				家庭学習に取り組む				ゲーム等の時間を決めている			
児童		保護者		児童		保護者		児童		保護者	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
97%	100%	98%	97%	97%	98%	93%	84%	80%	100%	100%	100%

6年生が実施した全国学力・学習状況調査の児童アンケートにおいても、生活習慣の定着が見られ、地域行事への参加意欲が高い傾向が見られました。ゲーム等の時間などルールをしっかりと決めていただいているようでとても心強く感じます。タブレット端末の導入・家庭への持ち帰りが定着し、家庭でタブレット端末を使って学習を行う機会も増えています。子どもたちの心身の健康を育むために引き続き、ご家庭での見守りをよろしくお願いいたします。



子どもたちの健やかな成長は、家庭生活を基盤として、学校での集団生活や地域との交わりを通して高められると考えます。学校の役割は、目の前の子どもの姿を受け止め、子どもの力を信じて、子ども自身が考え、行動することを見守り・指導支援していくことです。今後も家庭・地域・学校が、目指す子どもの姿を共有しながら、子どもたちの健やかな成長を共に育んでいきますよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。